

絹の国 建築つむぎ 未来へはばたけ

2026.10.16 FRI

大会テーマには、

群馬県の地域性と建築士会の願いが込められています。

群馬県は、かつて日本の近代化を支えた絹産業の拠点として発展し、地域の暮らしやまちづくりを独自の文化とともにはぐくんできました。

本大会では、そうした歴史を背景に、

建築士が地域の人々や風土と対話しながら、

未来に向けて「人の想い」や「まち」、「建築」を

丁寧につむいでいくことの大切さを改めて見つめなおします。

「ぐんま」らしさの中から建築と向き合い、そこからの発信が、

群馬県の形の象徴でもある「鶴が舞うように」未来へはばたいていく

そんな思いを込めています。

Official web site





めがね橋 安中市



河鹿橋 伊香保温泉



吹割の滝 沼田市



だるま市 高崎市

第68回建築士会 全国大会 ぐんま大会

2026.10.16 FRI
高崎芸術劇場 / Gメッセ群馬

Japan Federation of Architects &
Building Engineers Associations

Takasaki city theatre, G-messe in Gunma.

絹の国

建築つむぎ

未来へはばたけ



富岡製糸場 Tomioka Silk Mill

会期	2026.10.16 FRI	会場	高崎芸術劇場 / Gメッセ群馬			
主催	㊤(公社)日本建築士会連合会	共催	関東甲信越建築士会ブロック会	主管	(一社)群馬建築士会	https://gunmakenchikushikai.or.jp/
大会事務局	(一社)群馬建築士会 〒371-0846 群馬県前橋市元総社町2-5-3 群馬建設会館内 tel:027(252)2434 fax:027(252)2565					

第68回建築士会全国大会「ぐんま大会」開催に当たって

「絹の国 建築つむぎ 未来へはばたけ」



高橋 康夫 | 一般社団法人 群馬建築士会 会長

群馬建築士会待望の「ぐんま大会」へのお誘いです。関西大阪万博に合わせて開催された「おおさか大会」から引き継ぎ、「ぐんま大会」が開催できる光栄を会員一同、心から喜んでいきます。

「ぐんま大会」は、関東甲信越ブロック会10都県の中で、「さいたま大会」に次ぎ、9番手の開催となりますが、ブロック会の皆様のご協力も仰ぎながら、皆様をお迎えします。群馬の地は、海なし県でいわゆる内陸県ですが、ブロック会の太平洋側（東京）と日本海側（新潟）を結ぶ中継スポットになっています。群馬県は日本列島の内陸東部に位置するとともに、関東地方の北西部に位置し、坂東太郎とも呼ばれ首都圏の水瓶となっている利根川の上流域です。「ぐんま大会」を契機に群馬県の場所を覚えていただければ幸いです。米麦栽培・養蚕・繊維工業などの伝統産業に加え、畜産・野菜栽培・機械工業が盛んで、県北西部は草津温泉や伊香保温泉に代表される温泉地が点在しています。中でも磯部温泉は、温泉マーク発祥の地と言われていので、ぜひ、群馬の温泉文化もお楽しみください。県名の由来となった「群馬郡」は、元は「くるまのこおり」と言われ、奈良時代の初めに全国の郡や郷の名を二文字の好字で表記することとなり「群馬」と書くようになったものです。

また、「群馬」は「馬が群れる」という意味であり、貴重な馬が群れている豊かな土地であったとされています。江戸時代から

昭和初期にかけては、桐生織を中心に、当時の基幹産業である絹織物生産の中心地となり、群馬県の女性が家庭社会において従属的な位置に甘んじることなく元気澁刺としている大きな理由は、養蚕織物業によって、女性であっても多くの収入を得られたからであり、世に言われる「かかあ天下（でんか）と空っ風」です。

「かかあ天下」は、「女性（妻）に頭が上らない男性（夫）」とか「妻の尻に敷かれている夫」と取られがちですが、そうではなく、群馬の男性が自分の妻を感謝・尊敬し、自慢する意味で「ウチの母（かかあ）は天下一」という意味を持っています。さて、「ぐんま大会」のテーマは、実行委員会でワークショップを重ねて『絹の国 建築つむぎ 未来へはばたけ』としました。「ぐんま」は、世界遺産となった＜富岡製糸場＞をはじめ、国策で進められた絹産業の拠点として発展し、地域の暮らしやまちづくりを独自の文化ではぐくみました。「ぐんま大会」では、開催地としてのまちづくりを背景に、建築士が地域の人々と対話しながら、未来へ向けて「人の想い」や「まち」、「建築」を丁寧につむいでいくことの大切さを皆様と見つめ直し、未来へはばたく機会としたいと思います。赤城・榛名・妙義の上毛三山をはじめとした風光明媚な地であるとともに、名湯が豊富で自然環境豊かな「ぐんま」へ是非お越しください。会員一同、お待ち申し上げます。

大会概要

テーマ

絹の国 建築つむぎ 未来へはばたけ

会場 / 高崎芸術劇場(群馬県高崎市栄町9-1)
Gメッセ群馬(群馬県高崎市岩押町12-24)

期日 / 令和8年10月16日(金)

主催 / 公益社団法人 日本建築士会連合会

共催 / 関東甲信越建築士会ブロック会
(茨城県、栃木県、埼玉県、千葉県、東京都、
神奈川県、山梨県、長野県、新潟県、群馬県)

主管 / 一般社団法人 群馬建築士会



高崎芸術劇場 大会式典会場



Gメッセ群馬 交流セッション・大交流会会場



群馬音楽センター



臨江閣



富岡製糸場 世界文化遺産



太田市美術館・図書館



田島弥平旧宅 世界文化遺産



四万湯泉 積善館本館



桐生新町重要伝統的建造物群保存地区



旧館林市庁舎



富弘美術館



高山社跡 世界文化遺産



南郷の曲屋



河鹿橋



伊香保温泉 石段



法師温泉



草津温泉 湯畑(提供元:草津温泉観光協会)



磯部温泉

主なスケジュール

10月15日(木) 大会前日

プログラム	時間	場所	
① 記者会見	13:30~14:30	エテルナ高崎	3階
② 連合会理事・士会長合同会議	15:00~17:00	エテルナ高崎	2階
③ 全国建築士フォーラム	14:00~17:00	Gメッセ群馬	2階 メインホールA
④ 全国ヘリテージマネージャーネットワーク協議会総会	15:30~17:30	グリーンドーム前橋	サブイベントエリア

10月16日(金) 大会当日

プログラム	時間	場所	
⑤ 総合受付	9:00~16:00	高崎芸術劇場	2階 ホワイエ
⑥ 受付案内所	9:00~16:00	Gメッセ群馬	2階 ホワイエ
⑦ 企業出展	10:00~17:30	高崎芸術劇場	2階 ホワイエ
⑧ 物産展	10:00~17:30	高崎芸術劇場	1階 スタジオシアター
⑨ 記念展示	10:00~17:30	高崎芸術劇場	2階 ホワイエ
⑩ 休憩・食事エリア	9:00~14:30	Gメッセ群馬	1階 展示ホールA
⑪ 弁当配付	11:00~13:30	Gメッセ群馬	1階 展示ホールA
⑫ 青年委員会セッション	9:30~11:30	Gメッセ群馬	2階 メインホールA
⑬ 女性委員会セッション	9:30~11:30	Gメッセ群馬	2階 中会議室202B
⑭ まちづくりセッション①	9:30~11:30	Gメッセ群馬	2階 メインホールB
⑮ まちづくりセッション②	9:30~11:30	Gメッセ群馬	2階 メインホールC
⑯ 環境部会セッション	9:30~11:30	Gメッセ群馬	2階 中会議室201B
⑰ 群馬まちづくりセッション	9:30~11:30	群馬音楽センター	1階 ロビー
⑱ 群馬企画展示	10:00~17:30	高崎芸術劇場	2階 ホワイエ
⑲ 記念講演会	13:00~14:30	高崎芸術劇場	2階 大劇場、サブ会場4階音楽ホール
⑳ 大会式典	15:00~17:00	高崎芸術劇場	2階 大劇場、サブ会場4階音楽ホール
㉑ 大交流会	18:00~19:30	Gメッセ群馬	1階 展示ホールA

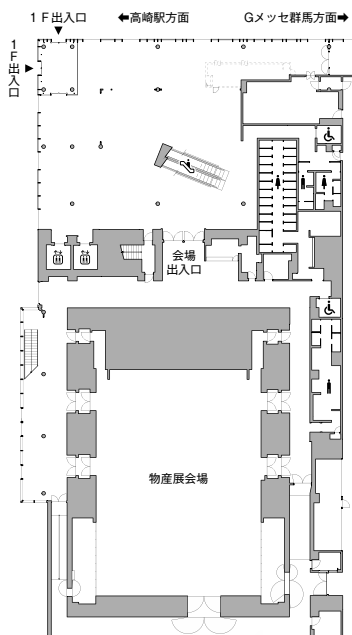
	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00
⑤ ⑥		総合受付・受付案内所												
⑦ ⑧ ⑨ ⑱		企業出展・物産展・記念展示・群馬企画展示												
⑩		休憩・食事エリア												
⑪			弁当配付〔Gメッセ群馬〕											
⑫ ⑬ ⑭ ⑯		各種交流セッション(青年、女性、まちづくり①、②、環境、群馬)												
⑲						記念講演会〔高崎芸術劇場〕								
⑳								大会式典〔高崎芸術劇場〕						
㉑											大交流会〔Gメッセ群馬〕			

10月17日(土)~18日(日) 地域交流見学会(エクスカーション)

プログラム(11コース)	時間	発着場所
Aコース (前橋コース) 赤城山の稜線が見守るまち“まえばし”	8:10~16:45	発着:高崎駅
Bコース (高崎コース①) レーモンドとタウトが残した高崎近代建築の軌跡	8:50~16:10	発着:前橋駅
Cコース (高崎コース②) レーモンドから磯崎新へ紡がれた高崎近代建築の流れ	8:35~17:35	高崎駅
Dコース (桐生コース) まちを織る建築、桐生重伝建を歩く	9:05~17:30	高崎駅
	8:35~	発:高崎駅
	~16:20	着:東武新桐生駅
	~17:20	着:高崎駅
Eコース (館林コース) 館林・里沼(日本遺産)×メタボリズム体感ツアー	7:50~	発:高崎駅
	~15:45	着:東武館林駅
	~16:45	着:熊谷駅
Fコース (伊香保コース) 石段の街・伊香保で感じるアートと歴史と三大うどん	8:20~17:00	高崎駅
Gコース (富岡コース) レトロな街並みが紡ぐ、新たな文化財活用のかたち	9:00~16:30	高崎駅
Hコース (安中コース) 電車で行く「鉄道遺産群」と温泉記号発祥の地「磯部温泉」	9:00~16:30	高崎駅
Iコース (藤岡コース) 網の街から織田家の支配地をめぐる旅	9:20~16:30	高崎駅
Jコース (四万コース) 四方の病を癒す昭和レトロ保養温泉	8:35~翌16:00	高崎駅
Kコース (草津コース) 歴史を伝えるエリアをめぐり、草津温泉で癒される旅	8:50~翌16:45	高崎駅

会場案内

高崎芸術劇場



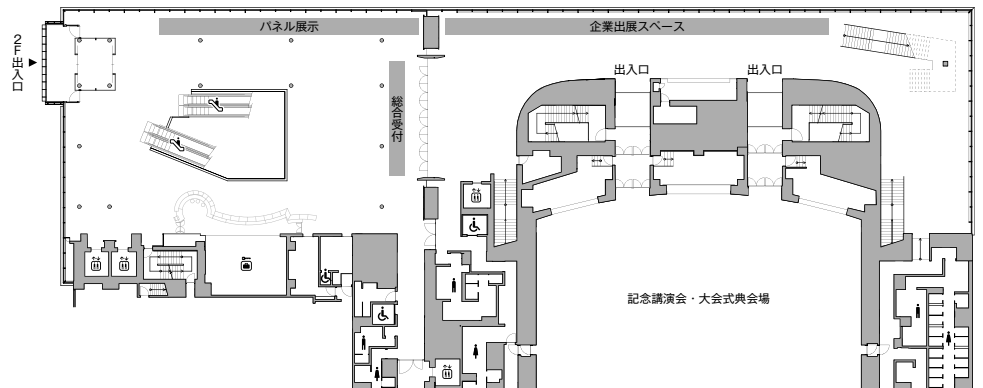
1F
10:00 ~ 17:30
物産展
スタジオシアター

2F
9:00 ~ 16:00
総合受付
ホワイエ

10:00 ~ 17:30
企業出展・群馬企画展示・
記念展示
ホワイエ

13:00 ~ 14:30
記念講演会
大劇場

15:00 ~ 17:00
大会式典
大劇場

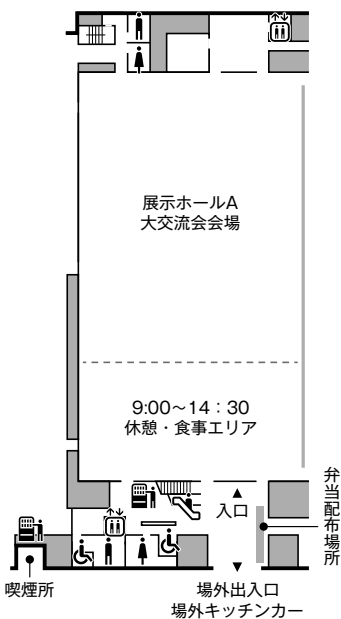


Gメッセ群馬

1F
9:00 ~ 14:30
休憩・食事エリア

11:00 ~ 13:30
弁当配布

18:00 ~ 19:30
大交流会
展示ホール A



2F
9:00 ~ 16:00
受付総合案内所
ホワイエ

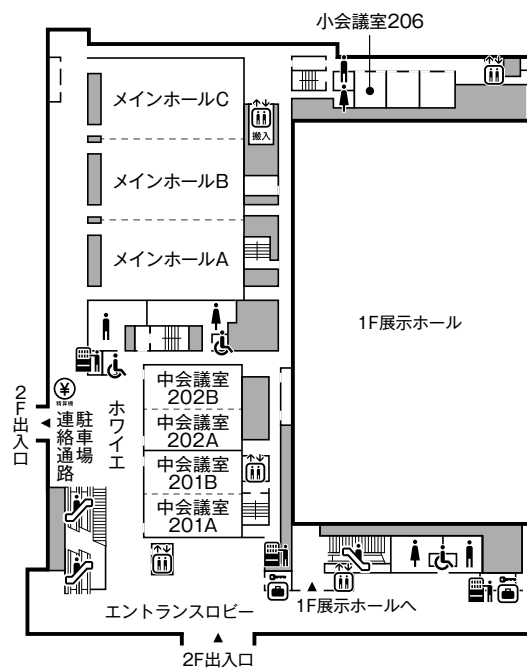
9:30 ~ 11:30
青年員会セッション
メインホール A

まちづくりセッション①
メインホール B

まちづくりセッション②
メインホール C

環境部会セッション
中会議室 201B

女性委員会セッション
中会議室 202B



大会式典 大交流会 記念展示・企業出展 お弁当

大会式典

会場になる高崎芸術劇場は、2019年開館した市民とアーティストが集う文化交流拠点です。群馬交響楽団の本拠地でもあり、最新設備と快適な空間で「鑑賞と創造」を一体化させた施設となります。当日は群馬が【奏でる音楽】もお楽しみください。

日時 / 令和8年10月16日(金) 15:00~17:00

会場 / 高崎芸術劇場 2階大劇場、サブ会場 4階音楽ホール



大交流会

会場であるGメッセ群馬の展示ホールAは無柱構造で天井高21mの広大な空間で柔軟なレイアウトと高い設備基準で、様々な大規模イベントの開催を可能にする多機能空間です。大交流会では群馬が誇る和太鼓集団「高崎頼政太鼓」が皆様を迎えます。

また、食事については群馬県産食材を使用した料理や群馬銘柄の地酒を準備しておりますのでぜひ、お楽しみください。

日時 / 令和8年10月16日(金) 18:00~19:30

会場 / Gメッセ群馬 1階展示ホールA



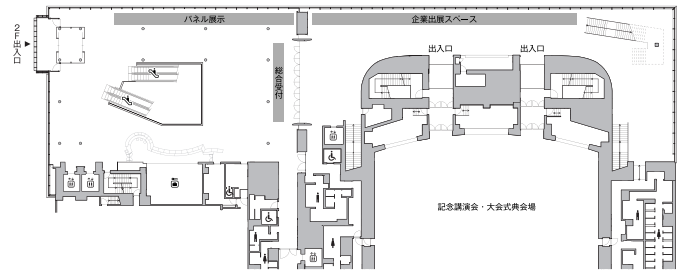
記念展示 (パネル展示)・企業出展

連合会の「建築作品賞」入賞作品、「女性委員会」活動報告、「伝統的技術者」の匠の技、高校生の「建築甲子園」優秀作品などのパネル展示や、各種団体・協賛企業による展示ブースを設けます。



日時 / 令和8年10月16日(金) 10:00~17:30

会場 / 高崎芸術劇場 2階ホワイエ



お弁当

秘伝のたれと厳選された鶏肉で創業当初から人気を博している、「登利平」の看板弁当。

高崎の味、「たかべん」の群馬県産の上州麦豚を使用したソースかつ重。群馬の食材をふんだんに使って「スワン」が作るおたのしみ弁当の3種類をご用意します。

当日はキッチンカーも出店予定です。



登利平「上州御用鳥めし竹弁当」
930円(お茶付き)



たかべん「上州麦豚のソースかつ重」
1,300円(お茶付き)



スワン「地産地消 上州おたのしみ弁当」
2,500円(お茶付き) ※300食限定

※写真はイメージになりますので食材の状況により、内容が変わる可能性があります。

記念講演会

日時 / 令和8年10月16日(金) 13:00~14:30

メイン会場 / 高崎芸術劇場 2階大劇場

サブ会場 / 高崎芸術劇場 4階音楽ホール

テーマ

『絹の国から建築をつむぐ』

絹産業とともに発展してきた群馬で紡がれた建築を、近代・現代と巡りながら建築単体ではなく、「文化」「歴史」「人々の営み」と建築のつながりにフォーカスします。そして、それらに取り巻く多角的な価値観を改めて認識し共有します。富岡製糸場、臨江閣、群馬音楽センターなどの建築は、今の私たちに何を紡いできたのか、そして、未来に向けてどんなことを、建築を通じて紡いでいけるのか、群馬にゆかりがある2人の方を迎え、語っていただきます。まず、最初に、群馬の歴史文化に精通されている、歴史家 熊倉浩靖氏より、近代から現代の群馬建築や文化遺産について、当時の人の想いを交えてお話しいたします。

次に、かつて父方の祖父母が高崎市九蔵町で金物店を経営していて、群馬県内にも多くの建築作品を生み出している建築家 永山祐子氏を迎え、群馬での作品だけではなく、伝統を後世につなげつつ新しいものを創り出すための設計手法や心構えなどをお聞きしたいと考えます。

私たち建築士が、地域の人々や風土と対話しながら「人の想い」や「まち」「建築」を丁寧につむいでいくことの大切さを、登壇者や会場の皆様とともに学び、考え、見つめ直します。



群馬音楽センター



パナソニックグループパビリオン「ノモの国」

©OMOTE NOBUTADA

演題1

『“生き続ける文化遺産” —群馬の近代建築を支え続ける民の力』



演題2

『建築というきっかけ』



歴史家・高崎商科大学特任教授

熊倉 浩靖 氏

1953年高崎市生まれ。京大文学部中退後、(財)高崎哲学堂設立の会常務理事。群馬県立女子大学教授退官後現在に至る。群馬県文化審議会副会長、地域活性化伝道師(内閣府)、(一社)世界文化遺産地域連携会議理事、環境カウンセラー(環境省)等に従事。主な著書に『井上房一郎 人と功績』(みやま文庫、2011年)、『増補版 上野三碑を読む』(雄山閣、2017年)、『「日本」誕生 東国から見る建国のかたち』(現代書館、2020年)、『世界文化遺産でたどる日本の歴史』(雄山閣、2025年)など

建築家

永山 祐子 氏

1975年東京生まれ。1998年~2002年 青木淳建築計画事務所勤務。2002年永山祐子建築設計設立。2020年~2024年、武蔵野美術大学客員教授。2023年よりグッドデザイン賞 審査副委員長。2025年芸術選奨文部科学大臣新人賞(美術部門)受賞。「LOUIS VUITTON 大丸京都店」、「丘のある家」、「豊島横尾館(美術館)」、「女神の森セントラルガーデン(小淵沢のホール・複合施設)」、「ドバイ国際博覧会日本館」、「玉川高島屋S・C 本館グランパティオ」、「JINS PARK 前橋」、「膜屋根のいえ」、「東急歌舞伎町タワー」大阪・関西万博「ウーマンズ パビリオン in collaboration with Cartier」、パナソニックグループパビリオン「ノモの国」など

交流セッション

青年委員会セッション

テーマ

地域実践活動発表会

運営 | 青年委員会

青年委員会セッションでは、全国の青年建築士による地域実践活動について、各ブロックから代表を選出し活動を共有する「地域実践活動発表会」を開催します。

多くの青年建築士が各々の職能を活かし、様々な団体、企業、自治体と連携しながらまちづくり、防災、人材育成など、「建築」をキーワードに日本の未来をよくするために活動しています。

このセッションでは、アイデアに富んだ全国各地の活動事例を共有し、共に学ぶことで、自身の活動や自県での展開に活かすことを目標としています。

全国の会員がつながり、互いに意見交換することが、建築士会の大きな意義です。これからの社会を担っていく青年建築士の

日時 / 令和8年10月16日(金) 9:30~11:30

会場 / Gメッセ群馬 2階 メインホール A

参加者 / 300名(予定)



青年委員会セッション

活動を是非ご覧いただき、多くの意見交換をお願いします。

建築の魅力や役割を広く伝え、地域に根ざした建築士としての姿を、青年建築士の熱意溢れる発表を会場で感じてください！

女性委員会セッション

テーマ

「思いっきりバージョンUP! part4」

～誰もが参加したい 未来の「魅力ある建築士会」とは～

運営 | 女性委員会

目まぐるしく変転する予測困難な時代においては臨機応変な対応と自らを変革し続ける力、そして多様性が求められます。このような時代の中で建築士会を未来につなげていくには、皆が意を一つにして建築士会のあり方について情報、意見交換し、再考することが重要と考えています。しずおか大会、鹿児島大会では全国の活動報告を、おおさか大会では会場の皆さま全員とグループディスカッションを行いました。今回のぐんま大会でもディスカッションを行いたいと思います。

だれもが参加しやすい、入ってよかったと思える「魅力ある建築士会に」するにはどうすればよいのか。在籍する私たち自身が

日時 / 令和8年10月16日(金) 9:30~11:30

会場 / Gメッセ群馬 2階 中会議室 202B

参加者 / 67名(予定)



思いっきりバージョンUP! Part3

ディスカッション報告 おおさか大会でのディスカッションの様子



「思いっきりバージョンUP!」ができるような、楽しく、時には熱く語り合える場になればと思います。皆さまのご参加を、心よりお待ちしております。

まちづくりセッション① 兼第13回全国ヘリテージマネージャー大会

テーマ

絹の国の歴史と建築文化を未来へつむぐ

運営

防災まちづくり部会・歴史まちづくり部会・
木のまちづくり部会

絹の国の歴史を背景に、未来に向けて「人の想い」「まち」「建築」をつむぐことの大切さについて、ディスカッションするセッションにしたい。

桐生市は近世初めに町立てが行われ、重要伝統的建造物群保存地区の桐生新町は、幅約5間半の本町通りの両側に間口6～7間、奥行40間という地割の形態が今に受け継がれている。また各建物の北側壁面の防火や開口部を設けない等のルールを代々守り続けて、火災に細心の注意を払ってきた。その町立ての起点となった桐生天満宮近くの四辻に、象徴的な歴史的建造物が存在している。この建築はどのように活用され、どのように町の産業観光の拠点になろうとしているのか。

館林紬は千年以上の歴史を誇る館林市の伝統織物である。しかし、すでに生産は途絶えてしまっているが、その再興の拠点とするため、築120年ほどの古民家の改修が行われた。それはどの

日時 / 令和8年10月16日(金) 9:30～11:30

会場 / Gメッセ群馬 2階 メインホールB

参加者 / 300名(予定)



桐生・四辻の齋嘉



館林・ツムギトエンガワ



大間々・ながめ余興場

ような手法で、どのように活用され、どのようなビジョンに基づいたものなのであろうか。

大間々町(現みどり市)に昭和12(1937)年に竣工した木造2階建ての劇場建築が存在する。華やかだった時代に立ち戻るような棧敷席や花道、舞台裏の楽屋、人力の回り舞台などが残されている。娯楽の多様化によって昭和62(1987)年に休眠状態に入ったが、存在価値が再認識され、平成8(1997)年に創建当時の趣のまま大改修され、市指定重要文化財の芝居小屋として現代に甦った。地域の人々の支えによって「生きた文化」として、どのように活動、運営されているのだろうか。建築文化を未来につむぐ真髄に触れてみたい。

まちづくりセッション②

テーマ

市民・企業・専門家・官の連携によるまちなか再生

— 馬場川アーバンデザインプロジェクト —

運営

景観まちづくり部会・街中(空き家)まちづくり部会・
福祉まちづくり部会

今回のまちづくりセッション②では、前橋市の「^{ばばっかわ}馬場川通りアーバンデザインプロジェクト(以下プロジェクト)」及び周辺のまちづくりを取り上げます。この「プロジェクト」は馬場川と隣接する市道を一体的に整備し、活気にあふれ居心地が良く、人にやさしい空間を創出した事業です。この事業の前から前橋市には、中心市街地の街づくり指針「前橋市アーバンデザイン」があり、この計画を推進する民間主体の組織「前橋デザインコミッション(MDC)」や地域に貢献する企業の組織「太陽の会」の活動が行われていました。「プロジェクト」は「太陽の会」などの寄付金や官民連携の枠組みを活用して行われ、専門家の協力のもと多くの人々が関わり実現されました。また、この周辺一帯では建築やアートの方で市街地を再生しようと「白井屋ホテル」「ばばっかわスクエア」、地元建築士が投資した「まえばしガレリア」などの建築物も整備され、

日時 / 令和8年10月16日(金) 9:30～11:30

会場 / Gメッセ群馬 2階 メインホールC

参加者 / 300名(予定)



白井屋ホテル



馬場川通り

建築物と水、緑、公共施設などが一体となった、魅力的でウォークアブルな都市空間が生まれています。また地域では新規出店も増え、地域住民や学生によるエリアマネジメントの活動なども行われています。都市の中で、建築物と公共空間を含めた都市空間全体をどのようにデザインするかは重要なことであり、関係者が協力して進める仕組みとともに、建築士や建築技術者の役割について考えることが必要と思われます。

今回まちづくりセッション②は、「街中(空き家)」「福祉」「景観」の3部会での共催となりますが、ここでは3部会の視点と共に、以上のような問題認識をもとに、建築士以外の関係者も交えてディスカッションを行います。

環境部会セッション

日時 / 令和8年10月16日

会場 / Gメッセ群馬 2階 中会議室 201B

参加者 / 90名(予定)

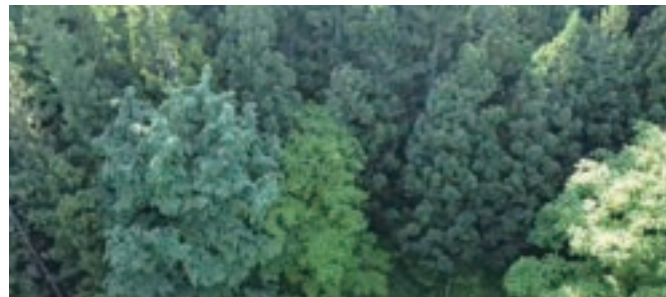
テーマ

「森とまちをつなぐサーキュラーエコノミーに建築士がどう貢献できるのか」

運営 | 環境部会

建築士会全国大会ぐんま大会の環境部会セッションでは、「森とまちをつなぐサーキュラーエコノミーに建築士がどう貢献できるのか」をテーマに、群馬の森林環境や木材や土等の地域資源を生かした持続可能な建築・まちづくりについて議論する。人口減少や気候変動への対応が求められる中、森林資源や既存建築ストック、伝統的木造建築などを活用した地域循環型の社会の構築への建築貢献が重要となっている。

本セッションでは、木材利用や古材活用、里山と都市の関係、廃棄物問題、歴史的建築の活用などを切り口に、森とまちをつなぐローカル・サーキュラーエコノミーの可能性を探る。また、建築士



自然と都市の繋がりについて考える

会が推進する建築士SDGs宣言の理念を踏まえ、地域資源の循環利用や脱炭素社会の実現に向けて建築士が果たす役割について、多様な分野の知見を交えて考える。群馬の自然・歴史・文化を背景とした実践事例を共有し、これからの建築士の社会的役割と地域環境への貢献のあり方を展望する。

群馬まちづくりセッション

テーマ

『音楽のある街・高崎』まち歩き

～響きをつむぐ建築たち～

運営 | 群馬建築士会

高崎が『音楽のある街』と呼ばれるのは、音楽と建築、市民が共に文化をつむいできたからです。

戦後、市民の情熱から生まれた高崎市民オーケストラ(後の群馬交響楽団)を支えたのが、アントニン・レーモンド設計の群馬音楽センター。力強い構造と温かな響きが、人と音楽を包み込んできました。1990年からは市主催の「高崎音楽祭」が開催され、『音楽のある街・高崎』と称されるように。そして2019年、高崎芸術劇場が新たな舞台として誕生し、音楽の未来をつむぐ場となっています。

音楽を育む建築、建築を生かす音楽。市民の参加。その響き合いこそが、高崎を『音楽のある街』とし、まちの文化を未来へとつむいでいるのです。

群馬音楽センターは最初のDOCOMOMO JAPAN20選(1990)に選ばれました。日本における近代建築の祖:アントニン・

日時 / 令和8年10月16日(金) 9:30~11:30

定員 / 60名

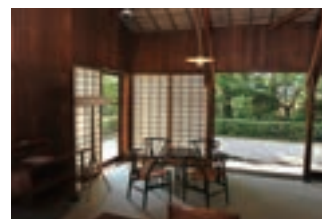
集合受付場所 / 群馬音楽センター 1階ロビー (9:30集合)

見学場所 / 群馬音楽センター、旧井上房一郎邸、豊田屋旅館本館

※昼食会場Gメッセまで距離がありますのでご注意ください。クロークはございません。



群馬音楽センター



旧井上房一郎邸

レーモンドによる秀逸な近代建築です。また高崎にはもう一つのレーモンド建築「旧井上房一郎邸」があります。RC造・木造の二つのレーモンド建築を堪能して頂きながら「音楽のまちづくり」への理解を深めて頂きたく、まち歩きを開催します。歴史を大切にしたい本事例を知る事が、各地域のまちづくりの一助となれば幸いです。

群馬音楽センター内では、午後の記念講演会の講演者、熊倉浩靖氏によるショートセッションも行います。井上房一郎の元で得た一次情報に基づく講義は、大いに臨場感があり心に残るものとなることは間違いありません。また近年、市民のイベントは徐々に新劇場に移行しつつあり、存続の危機も懸念されています。近代建築の保存問題にも思考が及ぶセッションになるでしょう。

群馬企画展示

日時 / 令和8年10月16日(金) 10:00~17:30

会場 / 高崎芸術劇場 2階ホワイエ

テーマ

絹と群馬の建築

世界遺産となった富岡製糸場は、ここ群馬の地に明治5年に設立されました。

150年以上の時を経た現在でも、ほぼ設立当時の姿のままの製糸場など、パネルで絹に関わる建築をご紹介します。

群馬では、絹との関わりがあり、江戸時代には藤岡で開催されていた絹市は、関東随一のにぎわいを見せ、江戸・京都・大阪の呉服商、三井越後屋、大丸屋、岩城升屋などが出店していました。明治になると、富岡に官営工場が建設され、日本の絹産業の発展に大きく貢献し、さらに、時代を経て、その富岡製糸場は、平成26(2014)年に、「富岡製糸場と絹産業遺産群」として世界遺産に登録されました。絹産業の衰退とともに状況は変化しまし



富岡製糸場 西置繭所から見た繰糸所
(提供元:群馬県)



富沢家住宅 (提供元:群馬県)

たが、絹産業を様々な形で支えた歴史とともに群馬には、絹産業に関わる遺産群が存在し、同時にさまざまな用途の建築があります。その建築の数々のパネルを展示し、絹と群馬の建築との関わりを紹介いたします。今回は、群馬県からのご協力を頂き世界遺産に登録された建物絹遺産に関わる建物とともに、パネルを作成し展示します。

開催セッション一覧

会場が異なりますのでご注意ください。

セッション一覧	会場	場所	時間
青年委員会セッション	Gメッセ群馬	2階 メインホールA	9:30~11:30
女性委員会セッション	Gメッセ群馬	2階 中会議室 202B	9:30~11:30
まちづくりセッション①	Gメッセ群馬	2階 メインホールB	9:30~11:30
まちづくりセッション②	Gメッセ群馬	2階 メインホールC	9:30~11:30
環境部会セッション	Gメッセ群馬	2階 中会議室 201B	9:30~11:30
群馬まちづくりセッション	群馬音楽センター	1階 ロビー	9:30~11:30
群馬企画展示	高崎芸術劇場	2階 ホワイエ	10:00~17:30

エクスカーショ 地域交流見学会

Aコース (前橋コース)

赤城山の稜線が見守るまち“まえばし”

～失われた活気跡で芽吹くもの～

かつて繭や生糸の集散地として栄えた前橋市。養蚕業の衰退、経済成長期を経て再び鈍化していく中で、中心市街地の空洞化が進み“さびれゆく都市”という多くの地方都市が抱える問題も顕在化しています。その中で少しずつですが、文化・アートを軸にした“街なか再生プロジェクト”が進んでおり、コンバージョンで誕生したアーツ前橋をはじめ白井屋ホテルなど「街なか散策」をしながら芽吹く建築をご紹介します。この時期には“第一回前橋国際芸術祭2026”の開催が予定されており、街と芸術のコラボを感じられるかと思えます。また街なかからは少し外れますが、地域との共生を試み続けている「JINS

PARK 前橋 (設計:永山祐子)」にも立ち寄ります。

一方、歴史的建造物も残っており、そのひとつである国指定重要文化財「臨江閣」を見学します。明治時代に迎賓館として建てられた本館、のちの別館、緑豊かな敷地内には茶室もごさいます (部分的に改修工事中)。そんな街並みを時を越えて見守ってきた“裾野は長しあかぎやま”。その赤城山の神様、全国の赤城神社の本宮「三夜沢赤城神社」を訪ねます。

途中「道の駅まえばし赤城」にて群馬のおみやげも購入できます。

Aコース (前橋コース) 10月17日 (土)

8:10～16:45 (高崎駅集散)

8:50～16:10 (前橋駅集散)

- 1 臨江閣
- 2 JINS/パーク前橋
- 3 三夜沢赤城神社
- 4 道の駅まえばし赤城
- 5 前橋街なか散策

お一人当たり参加費用 / 13,500円

募集人数 / 40名

最少催行人数 / 30名



臨江閣 (別館)



JINS PARK 前橋 (設計:永山祐子)



三夜沢赤城神社

Bコース (高崎コース①)

レーモンドとタウトが残した高崎近代建築の軌跡

実業家・井上房一郎はアントニン・レーモンドやブルーノ・タウトといった世界的建築家を高崎に招き、音楽や工芸、建築など質の高い芸術文化によるまちづくりを市民の力を牽引し実現しました。本コースでは、“日本における近代建築の祖”であるレーモンド設計の群馬音楽センターと旧井上房一郎邸を訪れ、RC造と木造の2つのレーモンド建築を巡ります。次にブルーノ・タウトが滞在した少林山達磨寺を訪問し、洗心亭や資料室を通してタウトの日本文化観と建築観に触れます。

午後は、ハルナイノバージョンセンター (設計:佐藤尚巳建築研究所、2025グッドデザイン賞受賞) を見学します。榛名山の山並みに呼応する建築は、多様な内部空間の展開を生み出し、地域や未来に開かれた研究・産業拠点となっています。旅の締めくくり、自然の岩盤地形を背景に社殿が配置された榛名神社を訪れます。近現代の建築と歴史・自然・思想が重なり合う高崎の建築的魅力をたどる一日です。

Bコース (高崎コース①) 10月17日 (土)

8:35～17:35 (高崎駅集散)

- 1 群馬音楽センター
- 2 旧井上房一郎邸
- 3 少林山達磨寺 (達磨絵付け体験)
- 4 洗心亭、タウト資料室
- 5 ハルナイノバージョンセンター
- 6 榛名神社

お一人当たり参加費用 / 15,000円

募集人数 / 40名

最少催行人数 / 30名



群馬音楽センター



榛名神社



洗心亭



ハルナイノバージョンセンター
(提供元:佐藤尚巳建築研究所)

Cコース(高崎コース②) レーモンドから磯崎新へ紡がれた高崎近代建築の流れ

高崎の近代化を支えた井上房一郎とその時代背景を軸に、建築と産業、文化のつながりを巡ります。まずアントニン・レーモンド設計の群馬音楽センター(DOCOMOMO JAPAN20選定作品(1990))と旧井上房一郎邸を見学します。レーモンドスタイルの空間に映えるノエミ夫人デザインの工芸品も見どころです。続いて、井上房一郎の父・井上保三郎により戦前に建立され、現在も市民のシンボルとして親しまれている高崎白衣大観音(登録有形文化財)を訪れます。

午後は、山名八幡宮(改修設計:永山祐子、2017グッドデザイン賞受賞)を参拝し、丁寧に紡がれた鎮守の森の非日常空間を体感します。締めくくりは群馬の森にて、群馬県立近代美術館(設計:磯崎新)と群馬県立歴史博物館(設計:大高正人)の二つの名建築を対比しながら巡り、日本のモダニズム建築の流れを俯瞰します。近代美術館の設立と若き磯崎新への設計委託はいずれも井上房一郎が主導したものです。

Cコース(高崎コース②) 10月17日(土)

9:05~17:30(高崎駅集散)

- 1 群馬音楽センター
- 2 旧井上房一郎邸
- 3 高崎白衣大観音
- 4 山名八幡宮
- 5 ガトーフェスタハラダ本社工場
- 6 群馬県立近代美術館
- 7 群馬県立歴史博物館

お一人当たり参加費用 / 12,400円

募集人数 / 40名

最少催行人数 / 30名



高崎白衣大観音



旧井上房一郎邸



群馬県立近代美術館



群馬県立歴史博物館

Dコース(桐生コース) まちを織る建築、桐生重伝建を歩く ～町家・工場・蔵が語る、ものづくりの記憶～

桐生市は、織物のまちとして長い歴史を刻んできました。市内には、町家や土蔵、ノコギリ屋根を持つ織物工場など、産業と暮らしが一体となって生まれた多様な建築が今も残されています。重伝建地区を中心とした町並みでは、軒を連ねる町家や通り土間の構成、自然光を取り入れる工夫など、時代ごとの知恵と技術を身近に感じることができます。ノコギリ屋根工場群に代表される産

業建築は、機能性と景観が両立した桐生ならではの風景です。

本コースでは実際に街を歩きながら建物の造りや素材、街並みの成り立ちに目を向け、建築が地域の文化を支えてきた背景を楽しみながら学べます。建築の専門家だからこそ気付ける、桐生の魅力を再発見するコースです。

Dコース(桐生コース) 10月17日(土)

8:35(高崎駅集合)

16:20(東武新桐生駅解散)

17:20(高崎駅解散)

- 1 群馬県立ぐんま昆虫の森
- 2 ながめ余興場
- 3 旧須藤邸
- 4 桐生新町重要伝統的建造物群保存地区
- 5 織物参考館「紫」
- 6 後藤織物

お一人当たり参加費用 / 16,000円

募集人数 / 40名

最少催行人数 / 30名



ながめ余興場



後藤織物(国登録有形文化財)



織物参考館「紫」(ゆかり)
(国登録有形文化財)



桐生新町重要伝統的建造物群保護地区

Eコース(館林コース)

館林・里沼(日本遺産)×メタボリズム体感ツアー

建築士・ヘリテージマネージャーのための、館林「継承と更新」エクスカージョンです。

出発は群馬県立館林美術館で、第一工房(高橋航一)による建築とランドスケープが一体となった構想を手がかりに、風景と建築の関係を専門的視点で読み解きます。

続いて茂林寺の沼辺に新設されたMORINJI PRAYへ向かいます。FUTUROや中銀カプセルの展示、そしてアートスペースを通して、メタボリズム/未来住宅の思想を“実物”で検証します。併せて日本遺産「里沼」の水系景観(祈り・実り・守り)を歩いて読み解き、建築と地域資源がつながる回路を体感できます。昼食は旧秋元別邸(名探偵津田のロケ地)で、近代和風建築と庭の関係、迎賓性、保存活用の勘所を観察します。次に日清製粉ミュージアムで、産業遺産を改修した美術館としての保存再生と展示計画の両立を確認します。最後は菊竹清訓設計の旧館林市役所へ向かいます。菊竹事務所OBの解説付きで、メタボリズム建築の思想とディテールを深掘りします。



FUTURO



群馬県立館林美術館



日清製粉ミュージアム

Eコース(館林コース) 10月17日(土)

7:50(高崎駅集合)
15:45(東武館林駅解散)
16:45(熊谷駅解散)
1 群馬県立館林美術館
2 MORINJI PRAY
3 旧秋元別邸
4 日清製粉ミュージアム
5 旧館林市役所

お一人当たり参加費用 / 15,600円

募集人数 / 40名

最少催行人数 / 30名



旧館林市役所



旧秋元別邸

Fコース(伊香保コース)

石段の街・伊香保で感じる アートと歴史と三大うどん

最初に訪れる原美術館ARC(設計:磯崎新)は、ピラミッド型の屋根を持つ正方形のギャラリーAと両翼に細長く伸びるギャラリーB・Cというシンメトリーを意識した三つの展示室で構成されています。展示室はやわらかな自然光が降り注ぐシンプルな空間の中、現代美術の展示を行っています。伊香保温泉の中心にある石段街は、約400年の歴史を持つ温泉街の象徴で、現在は「一年365日賑わうように」との願いを込めて365段に整備され、昔ながらの温泉情緒を色濃く残しています。

佛光山法水寺は、台湾最大級の仏教宗派・佛光山の日本総本山として2018年に建立された寺院です。本堂「大雄宝殿」は台湾建築ならではの鮮やかな意匠や彫刻が特徴です。水澤観世音はおよそ1300年前、推古天皇・持統天皇の勅願により、高麗の高僧 惠灌僧正によって開基されました。

名物の水沢うどんは、日本三大うどんの一つに挙げられます。小麦にこだわって、清らかな水と塩だけで丹念に鍛えられた麺は透明感のある艶と、つるつるとした喉ごしが特徴です。



原美術館ARC



佛光山法水寺



水澤観世音

Fコース(伊香保コース) 10月17日(土)

8:20~17:00(高崎駅集合)
1 原美術館ARC
2 佛光山法水寺
3 五徳山水澤観世音
4 伊香保石段街
5 河鹿橋

お一人当たり参加費用 / 14,600円

募集人数 / 40名

最少催行人数 / 30名



水沢うどん



伊香保温泉街

Gコース(富岡コース) レトロな街並みが紡ぐ、新たな文化財活用のかたち

上信電鉄のレトロな電車で揺られ富岡市へ。上州富岡駅から世界遺産富岡製糸場までは徒歩10分の距離、道中にはSNSでもいろいろと話題の富岡市役所や、同じく隈研吾事務所の設計監修による改修工事で保存活用される旧富岡倉庫があります。当日は富岡の郷土イベント「どんと祭り」の最中で、複数の山車が対峙し互いにお囃子を競い合う迫力の祭りが開催され、見どころ沢山イベント山盛りです。

富岡製糸場の西置繭所は木骨造レンガ作りの建物内に鉄骨を骨組みとして組み、壁と天井をガラスとしたハウス・イン・ハウス工法を採用。保存修理と耐震補強と整備

活用のための整備工事を同時に行う、新たな保存活用の在り方を提示しています。富岡製糸場の敷地内には創業時のフランス人技術者の住居から昭和まで活用された社宅、寄宿舎や診療所まで大小100棟に及ぶ文化財建物が現存しています。明治30年代創業の旧富岡倉庫の建物群は、倉庫及び乾燥場の計4棟の建築年代と仕様の異なる建物で構成され、「歴史的建造物を活かしたまちづくり」の一環として、新たな価値を加え、にぎわいの拠点となるように、整備されました。

Gコース(富岡コース) 10月17日(土)

9:00~16:30(高崎駅集散)

- 1 富岡市役所庁舎
- 2 旧富岡倉庫
- 3 富岡製糸場
- 4 富岡どんと祭り

お一人当たり参加費用 / 9,600円

募集人数 / 40名

最少催行人数 / 30名



富岡市役所



旧富岡倉庫



富岡製糸場



どんと祭り

Hコース(安中コース) 電車で行く「鉄道遺産群」と温泉記号発祥の地「磯部温泉」

国重要文化財である「めがね橋」は明治26年(1893)に開通し、急勾配をアプト式に登坂し、当時の重要な輸出品であった生糸や繭などを横浜まで運びヨーロッパへ輸出しました。「丸山変電所」は日本初の幹線電化区間として、電気機関車を走らせるための変電所です。当時の鉄道と電気の最先端技術が導入された鉄道遺産群の散策と碓氷峠鉄道文化むらでD51やEF63などの貴重な展示車両を見学します。

昼食は駅弁で有名な荻野屋の峠の釜めしをご用意いたします。特徴的なトロッコ列車、峠の湯で紅葉をご堪能ください。

また、訪れる磯部温泉は温泉記号の発祥地とされています。江戸時代の日本最古の温泉記号の石碑・足湯温泉、磯部せんべいを食べながら、磯部温泉リノベーションまち歩きをお楽しみください。

Hコース(安中コース) 10月17日(土)

9:00~16:30(高崎駅集散)

- 1 磯部温泉地区
- 2 碓氷峠鉄道文化むら
- 3 トロッコ列車もしくはSL乗車
- 4 めがね橋
- 5 旧丸山変電所

お一人当たり参加費用 / 7,500円

募集人数 / 40名

最少催行人数 / 30名



磯部の街並み



めがね橋



旧丸山変電所



碓氷鉄道文化むら

Iコース (藤岡コース) 絹の街から織田家の支配地をめぐる旅

群馬県の南西部に位置する藤岡市は、昔から群馬の玄関口と言われ、室町時代には諸国に通じる街道、生活道が整備され交通の要衝とされてきました。現在は「道の駅らん藤岡」が高速の出入口として多くの方に利用されています。江戸時代の藤岡の絹市は、関東随一の絹の取扱高がありました。名残の蔵が多くあり現在は改装し店舗として活躍、柏屋四郎右衛門もその一つです。「高山社」は養蚕技術を教える機関として活躍しました。明治以降、高山社発祥の『清温育』により日本の養蚕技術が革新されました。全国だけでなく海外からも生徒が集まり、養蚕の技術を学んで故郷に戻り、その技術を生かしたとされています。同時に瓦づくりも盛んで、多い時には100軒を超える工場がありました。しかし時代が

変わり瓦の需要が減少、工場も閉鎖していきました。しかし全国に3台しかないだるま窯の2台が藤岡にあり、窯変瓦とともに今も稼働中です。建物の見どころは妹島和世他1名が設計し、曲面ガラスが特徴の鬼石多目的ホールです。また市内中心部では、昨年秋に開業しました佐藤総合計画・設計の総合施設「ふじまる」(図書室～多目的ホール)が市民の憩いの場となっております。

甘楽町は鎌倉から戦国時代にかけて織田家が支配した土地柄です。小幡は古い街並が続き、桜の咲く頃は特に魅力的です。楽山園、武家屋敷は最近整備され、たくさんの方の憩いの場となっています。群馬県特産のこんにやくを使ったこんにやくパークではこんにやく作りの体験ができます。

Iコース (藤岡コース) 10月17日 (土)

9:20~16:30 (高崎駅集散)

- 1 藤岡市複合施設ふじまる
- 2 高山社
- 3 鬼石多目的ホール
- 4 七興山古墳
- 5 甘楽町小幡
- 6 楽山園
- 7 こんにやくパーク
- 8 らん藤岡

お一人当たり参加費用 / 14,600円

募集人数 / 40名

最少催行人数 / 30名



高山社



多目的ホール「ふじまる」



柏屋四郎右衛門



らん藤岡



鬼石多目的ホール



楽山園



小幡の街並み

Jコース (四万コース)

四万の病を癒す昭和レトロな保養温泉 ～自然満喫の旅～

国民保養温泉地1号にも指定された四万(しま)温泉。歴史は古く700年代に発見され、名前は「四万(よまん)の病を癒す霊泉」に由来しています。その中でも日本最古の木造湯宿建築といわれる「積善館」は「千と千尋の神隠し」の舞台イメージの一つと言われています。今回の大会記念講演者、永山祐子氏も改修プロジェクトに参加され、心と体を休ませながら仕事もできる日常とつながる湯治場として改修されました。「四万湖」の由来は四季折々の色彩の変化で、特徴的な「四万ブルー」が楽しめます。「吹割の滝」は「天然記念物及び名勝」で東洋のナイアガラと呼ばれています。「道の駅川場田園プラザ」は村内の特産物を販売するほか、地域の活性化

を目的として発足しました。「防災道の駅」としてヘリポートや備蓄庫を備えています。「ロックハート城」は俳優の津川雅彦さんが関わり、スコットランドから移築・復元された日本初の古城です。「県立ぐんま天文台」は、群馬県民が200万人になり、群馬出身の向井千秋さんが日本人初の女性宇宙飛行士となったことを記念した磯崎新設計の公開天文台です。大型の反射望遠鏡2台が設置されており、屋外には天体の動きと関係するモニュメントがあります。

最後に訪れる「道の駅中山盆地」のテーマは、「人が輝き、伝統息づく星の里」です。すでにあった温泉施設を活かし、高山村を満喫できる施設です。

Jコース(四万コース)

10月17日(土)、10月18日(日)【2日間】

8:35(高崎駅集合)【1日目】

16:00(高崎駅解散)【2日目】

- 1 吹割の滝
- 2 川場田園プラザ
- 3 川場BASE
- 4 果実の里原田農園
- 5 積善館
- 6 奥四万湖
- 7 大理石村ロックハート城
- 8 道の駅中山盆地
- 9 ぐんま天文台

お一人あたり参加費用 / 46,400円

(部屋タイプにより変動)

募集人数 / 40名

最少催行人数 / 30名



積善館



吹割の滝



川場田園プラザ



奥四万湖



ロックハート城



県立ぐんま天文台



道の駅中山盆地

Kコース (草津コース)

歴史を伝えるエリアをめぐり、草津温泉で癒される旅

草津白根山の麓に広がる日本屈指の名湯で、古くから「東の草津、西の有馬」と称され、日本三名泉の一つに数えられてきた温泉地です。中心に位置するシンボル「湯畑」から立ち上る湯けむりが街全体に独特の情緒を与えています。日本一の自然湧出量を誇り、強酸性の泉質が「恋の病以外はなんでも治す」とも言われる名湯文化を育んできました。

最初に訪れるハッ場天明泥流ミュージアムは、1783年の浅間山大噴火によって発生した大規模な「天明泥流」の実態と、被災した村々の歴史を伝えるために2021年に

開館した博物館です。2日目に向かう赤岩地区は、江戸末期から明治期にかけての養蚕農家が数多く残る山村集落です。伝統的建造物と自然環境が一体となった場所で、2006年に群馬県で初めて国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されました。切妻造平入・総二階建の主屋が多く、正面の外壁から梁を張り出す出梁が特徴です。また、1階を居住、2階を蚕室とした養蚕農家独特の構造が色濃く残り、石垣や蔵、納屋などが連続することで、昔ながらの山村風景を現在までよく伝えていきます。

Kコース(草津コース)

10月17日(土)、10月18日(日)【2日間】

8:50(高崎駅集合)【1日目】

16:45(高崎駅解散)【2日目】

- 1 やんば天明泥流ミュージアム
- 2 ハッ場ダム水陸両用バスツアー
- 3 浅間酒造観光センター
- 4 草津温泉街
- 5 重要建造物保護区・赤岩地区
- 6 旧草津電鉄北軽井沢駅舎
- 7 鬼押し出園

お一人あたり参加費用 / 57,200円

(部屋タイプにより変動)

募集人数 / 40名

最少催行人数 / 30名



草津温泉街



ハッ場天明泥流ミュージアム



赤岩地区

周辺マップ



高崎駅から

- 高崎芸術劇場 東口 2FペDESTリアンデッキから徒歩5分 Gメッセ群馬 高崎芸術劇場から徒歩10分
- 群馬音楽センター 西口から徒歩13分
- お車で越しの場合、Gメッセ群馬駐車場(有料)をご利用ください

■ 全国ヘリテージマネージャーネットワーク協議会総会



前橋駅からグリーンドームまで

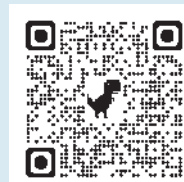
- 北口から徒歩50分
- 北口バス停利用 バス10分～15分「前橋公園」バス停を降りて徒歩1分

参加・宿泊登録についてのご案内

(大会登録・大交流会・セッション、エクスカーション・昼食弁当・宿泊)

1. 参加登録(申し込み)方法

- 専用登録ページ(下記URLまたは二次元コード)からのみ受け付けます。
- 1回の申し込みにつき、最大10名まで登録可能です。
- 電話・FAX・メール等での直接申し込みは一切受け付けておりません。



申し込みはこちら

2. 申し込みURL

<https://amarys-jtb.jp/kenchikushi2026/>

※申し込みは当サイトのみとなり、別途電話などによる申し込みは承りません。

3. 申し込み期間

2026年5月20日(水) 10:00 から 2026年7月20日(月) 17:00まで

4. 申し込みの流れ

こちらからご覧ください。



申し込みの流れ

- ①新規登録
- ②申し込み
- ③支払い
- ④予約情報の確認

各連絡先(お問い合わせ先)

1. 大会スケジュール・関係行事に関するお問い合わせ先

一般社団法人 群馬建築士会

〒371-0846

群馬県前橋市元総社町2-5-3 群馬建設会館内

TEL: 027-252-2434 FAX: 027-252-2565

2. 大会参加申し込み(登録システム等)に関するお問い合わせ先

株式会社JTB群馬支店

担当: 松本・大塚・坂内

TEL: 027-310-3062 E-mail: gunma_010@jtb.com

営業時間: 9:30～17:30(土・日・祝日は休業)

旅行条件(要約) <宿泊プラン・エクスカージョン共通>

◆お申込の際には必ず旅行条件書(全文)を申込サイトにてご確認いただき、必ず内容をご確認の上お申込ください。

● 募集型企画旅行契約

この旅行は株式会社JTB 群馬支店(群馬県高崎市東町9番地ツインシティ高崎4階、観光庁長官登録旅行業第64号。以下「当社」という)が企画・実施する旅行であり、この旅行に参加されるお客様は当社と募集型企画旅行契約(以下「旅行契約」という)を締結することになります。また、旅行条件は、下記によるほか、別途お渡しするご旅行条件書(全文)、出発前にお渡しする最終日程表と称する確定書面及び当社旅行業約款募集型企画旅行契約の部によります。当社約款をご希望の方は当社にご請求ください。

● 旅行のお申し込み及び契約成立時期

- (1) 申込サイトで所定の事項を入力し、お申し込みください。
- (2) 旅行契約は、当社が契約の締結を承諾し、申込金を受領したときに成立するものとします。
- (3) 申込金：旅行代金全額

● 旅行代金のお支払い

旅行代金はお送りする請求書に記載された当社が指定する期日までにお支払ください。また、お客様が当社提携カード会社のカード会員である場合、お客様の署名なくして旅行代金、取消料、追加諸費用などをお支払いいただくことがあります。この場合のカード利用日は、お客様からお申し出がない限り、お客様の承諾日といたします。

● 取消料

旅行契約成立後、お客様の都合で契約を解除される場合は、申込サイト掲載の取消料表に基づく金額を取消料として申し受けません。

● 旅行代金に含まれるもの

- (1) 各旅行日程およびご案内に明示した運送機関の運賃・料金(注釈のないかぎりエコノミークラス)、宿泊費、食事代、入場料・拝観料等及び消費税等諸税。
 - (2) 添乗員が同行するコースにおける添乗員経費、団体行動に必要な心付け。
 - (3) パンフレット等において、旅行代金に含まれる旨表示したもの。
- これらの費用は、お客様の都合により一部利用されなくても原則として払い戻しいたしません。

● 旅行代金に含まれないもの

上記「旅行代金に含まれるもの」以外のものは含まれませんが、その一部を以下に例示します。

- (1) クリーニング代、電報電話料その他の追加飲食等個人的性質の諸費用及びそれに伴う税・サービス料。
- (2) ご希望者のみ参加されるオプション・ツアー(別途料金の小旅行)の料金。
- (3) 自宅から発着地までの交通費。

● 特別補償

当社は、当社又は当社が手配を代行させた者の故意又は過失の有無にかかわらず、募集型企画旅行約款別紙特別補償規程に基づき、お客様が募集型企画旅行参加中に急激かつ偶然な外来の事故により、その身体、生命又は手荷物上に被った一定の損害について、以下の金額の範囲において、補償金又は見舞金を支払います。

- ・ 死亡補償金：1,500万円
- ・ 入院見舞金：2～20万円
- ・ 通院見舞金：1～5万円
- ・ 携行品損害補償金：お客様1名につき～15万円(但し、補償対象品1個又は1対あたり10万円を限度とします。)

● 「通信契約」を希望されるお客様との旅行条件

当社提携クレジットカード会社のカード会員(以下「会員」といいます。)より「会員の署名なくして旅行代金や取消料等の支払いを受ける」こと(以下「通信契約」といいます。)を条件にお申し込みを受けた場合、通常の旅行条件とは以下の点で異なります。

- (1) 通信契約による旅行契約は、当社らの旅行契約の締結を承諾する旨の通知がお客様に到達したときに成立するものとします。また申込時には「会員番号・カード有効期限」等を通知していただきます。
- (2) 与信等の理由により会員のお申し出のクレジットカードでのお支払いができない場合、当社は通信契約を解除し、規定の取消料と同額の違約料を申し受けます。ただし、当社が別途指定する期日までに現金による旅行代金のお支払いをいただいた場合はこの限りではありません。

● 国内旅行保険への加入について

旅行先において、けがをした場合、多額の治療費、移送費等がかかることがあります。また、事故の場合、加害者への損害賠償請求や賠償金の回収が大変困難であるのが実情です。これらの治療費、移送費、また、死亡・後遺障害等を担保するため、お客様自身で充分な額の国内旅行保険に加入することをお勧めします。詳細については、お問合せください。

● 事故等のお申し出について

旅行中に、事故などが生じた場合は、直ちに同行の添乗員・現地係員・運送・宿泊機関等旅行サービス提供機関、又は、お申込個所にご通知ください。(もし、通知できない事情がある場合は、その事情がなくなり次第ご通知ください。)

● 個人情報の取扱について

- (1) 当社及び販売店は、旅行申込の際に提出された申込書等に記載された個人情報について、お客様との連絡のために利用させていただくほか、お客様がお申込みいただいた旅行サービスの手配及びそれらのサービスの受領のための手続きに必要な範囲内、当社の旅行契約上の責任、事故時の費用等を担保する保険の手続き上必要な範囲内、並びに旅行先の土産品店でのお客様のお買い物等の便宜のために必要な範囲内でお申込みいただいたパンフレット及び最終旅程表に記載された運送・宿泊機関等及び保険会社、官公署、土産品店に対し、お申込み時にいただいた個人情報及び搭乗される航空便に係る個人データを、予め電磁的方法等で送付することにより提供いたします。
- (2) 当社及び販売店は、旅行中に疾病・事故等があった場合に備え、お客様の旅行中の連絡先の方の個人情報をお伺いしています。この個人情報は、お客様に疾病等があった場合で連絡先の方へ連絡の必要があると当社が認めた場合に使用させていただきます。お客様は、連絡先の方の個人情報を当社及び販売店に提供することについて連絡先の方の同意を得るものとします。
- (3) その他、個人情報の取扱いについては、ご旅行条件書(全文)の「個人情報の取扱い」をご参照ください。なお、当社の個人情報に関するお問い合わせ窓口は次の部署となります。
株式会社JTB お客様相談室 〒140-8602 東京都品川区東品川2-3-11
<https://www.jtb.co.jp/form/inquiry/wmform.asp>

● 旅行条件・旅行代金の基準

この旅行条件は2026年2月20日を基準としています。又、旅行代金は2026年2月20日現在の有効な運賃・規則を基準として算出しています。